

財政収支(1-5月)

(1) 1-5月の歳入は前年同期比44.7%増、税収は同46.7%増。歳出は前年同期比43.8%増。
(2) 1-5月の財政収支は650.32億リラの赤字、プライマリーバランスは1,854.63億リラの黒字。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2024年1-5月(A)	2025年1-5月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	32,401.47	46,891.54	44.7%
税収	27,302.39	40,065.28	46.7%
所得税	4,813.21	9,501.59	97.4%
法人税	4,519.78	5,243.47	16.0%
付加価値税(国内及び輸入)	8,902.36	12,016.87	35.0%
特別消費税	4,970.55	6,790.09	36.6%
その他税収	4,096.49	6,513.26	59.0%
税外収入等	5,099.08	6,826.26	33.9%
歳出(b)	37,120.50	53,394.56	43.8%
人件費	10,777.21	14,702.01	36.4%
物品及びサービスの購入	2,236.99	3,379.41	51.1%
経常移転	14,581.38	20,501.56	40.6%
資本支出	2,145.67	3,487.43	62.5%
支払利子(c)	4,751.47	8,357.65	75.9%
その他歳出	2,627.78	2,966.50	12.9%
財政収支(a-b)	▲ 4,719.03	▲ 650.32	86.2%
基礎的財政収支(a-(b-c))	32.44	1,854.63	5617.1%

経常収支(1-4月)

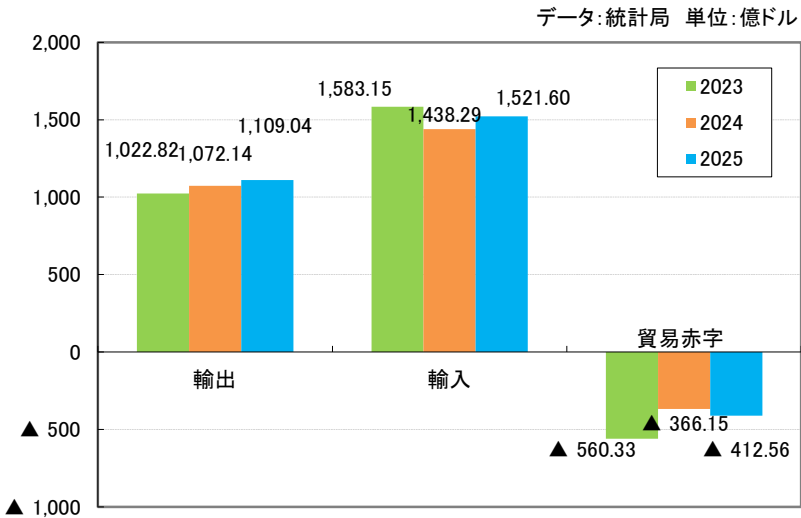
(1) 1-4月の経常収支は、203.01億ドルの赤字(前年同期は145.60億ドルの赤字)。
(2) 1-4月の貿易収支(物品)は257.72億ドルの赤字で前年同期から赤字幅拡大、旅行収支は95.27億ドルの黒字で前年同期から黒字幅は拡大。

データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2024年1-4月(A)	2025年1-4月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 145.60	▲ 203.01	▲ 39.4%
貿易収支(物品)	▲ 217.85	▲ 257.72	▲ 18.3%
サービス収支	119.52	119.95	0.4%
旅行収支	93.49	95.27	1.9%
第1次所得収支	▲ 47.61	▲ 62.98	▲ 32.3%
第2次所得収支	0.34	▲ 2.26	▲ 764.7%
労働者送金	0.28	0.22	▲ 21.4%
資本移転等収支	▲ 0.09	0.13	244.4%
金融収支	▲ 230.12	▲ 268.62	▲ 16.7%
直接投資	▲ 13.22	▲ 5.01	62.1%
証券投資	▲ 17.74	94.34	631.8%
その他投資	51.94	7.88	▲ 84.8%
外貨準備	▲ 251.10	▲ 365.83	▲ 45.7%
誤差脱漏	▲ 84.43	▲ 65.74	22.1%

貿易収支(1-5月)

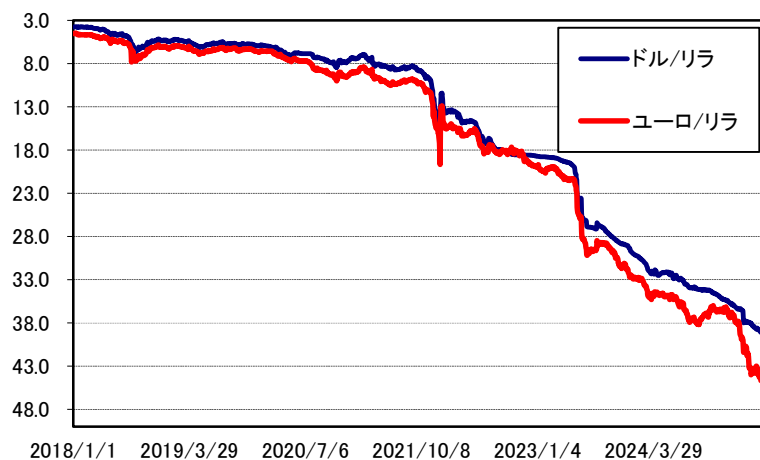
(1) 1-5月の輸出額は1,109.04億ドル(前年同期比3.4%増)、輸入額は1,521.60億ドル(同5.8%増)となり、この結果、貿易収支は412.56億ドルの赤字(同12.7%赤字幅拡大)。
(2) 1-5月の輸出額におけるEU向けの割合は43.5%(前年同期は42.1%)、輸入額におけるEUからの割合は31.1%(前年同期は32.5%)となっている。



為替(6月)

6月に開かれた中銀による政策決定会合では政策金利は据え置かれ、対ドル・対ユーロ共にリラ安方向は続くもその程度は限定的。月末時点では1ドル=39.74リラ(前月末比1.85%安)、1ユーロ=46.55リラ(同5.80%安)となった。

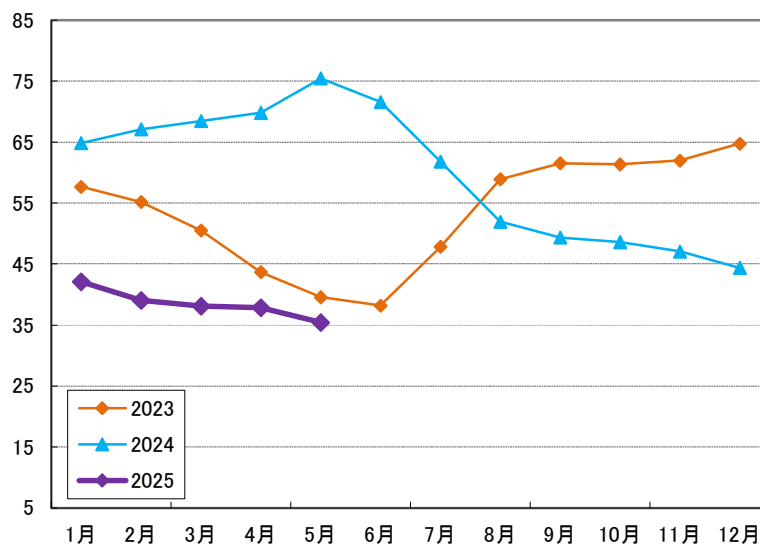
データ: 中央銀行 単位: リラ



消費者物価上昇率(5月)

(1) 5月の消費者物価は前年同月比35.41%、前月比1.53%。
 (2) 項目別にみると、前年同月比では教育が71.67%となり最も上昇した。前月比においては衣類・履物が6.97%となり最も上昇した。
 (3) 国内生産者物価指数(月)は前年同月比23.13%増、前月比2.48%増となった。

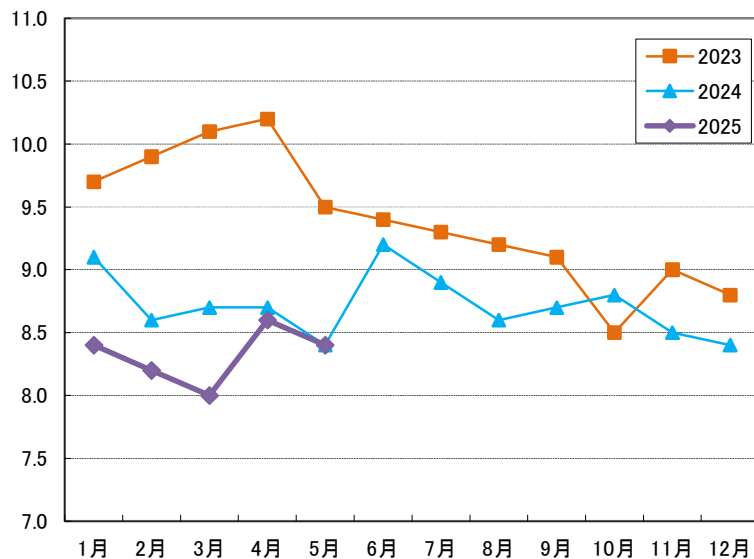
データ: 統計庁 単位: 前年同月比(%)



失業率(5月)

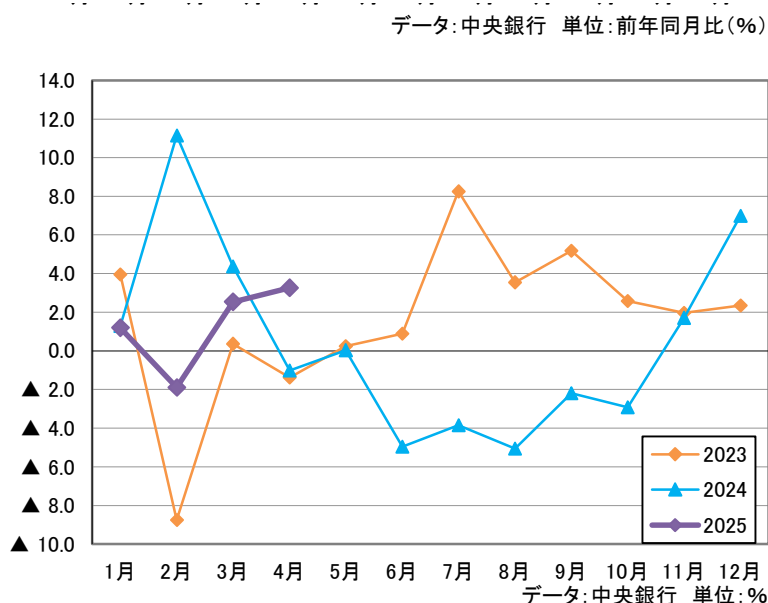
(1) 5月の失業率(季節調整後)は8.4%となり、前月から0.2ポイント低下。
 (2) 労働力人口は3,549.1万人、就労者数は3,251.9万人、失業者数は297.2万人。
 (3) 男性の失業率は6.5%、女性は11.9%。若年層(15-24歳)の失業率は15.4%となっている。

データ: 統計庁 単位: %



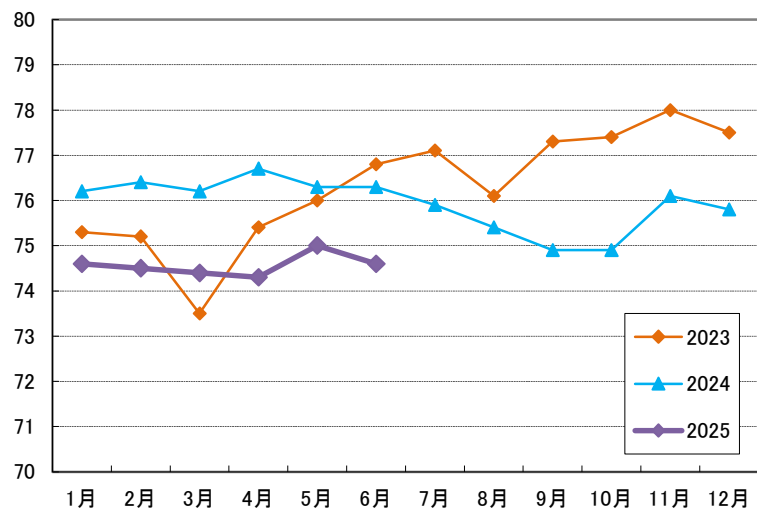
鉱工業生産(4月)

(1)4月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)3.3%増。
(2)分野別では、耐久消費財が前年同月比5.4%減、資本財が同6.4%増、中間財が同1.7%増となった。



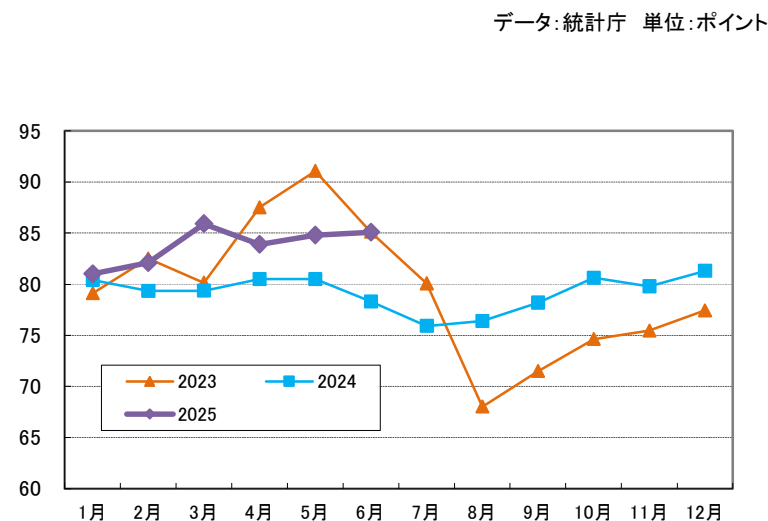
設備稼働率(6月)

(1)6月の設備稼働率は74.6%となり、前年同月から1.7ポイント低下。前月から0.4ポイント低下。
(2)製造業の分野別では、たばこ製造業(86.7%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(66.0%)が最も低い稼働率であった。



消費者信頼感指数(6月)

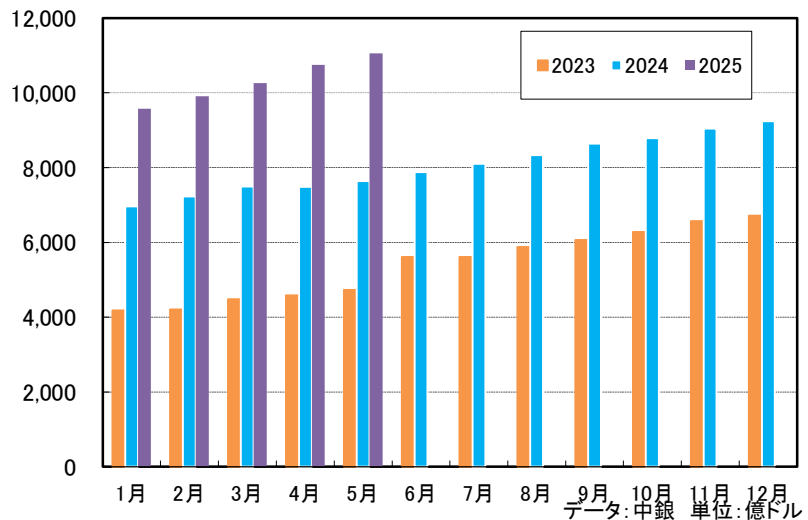
(1)6月の消費者信頼感指数(季節調整値)は85.1ポイントとなり、前月から0.3ポイント上昇。
(2)内訳では、「現在の家計の財政状況」、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」、「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から上昇。



中央政府債務残高(5月)

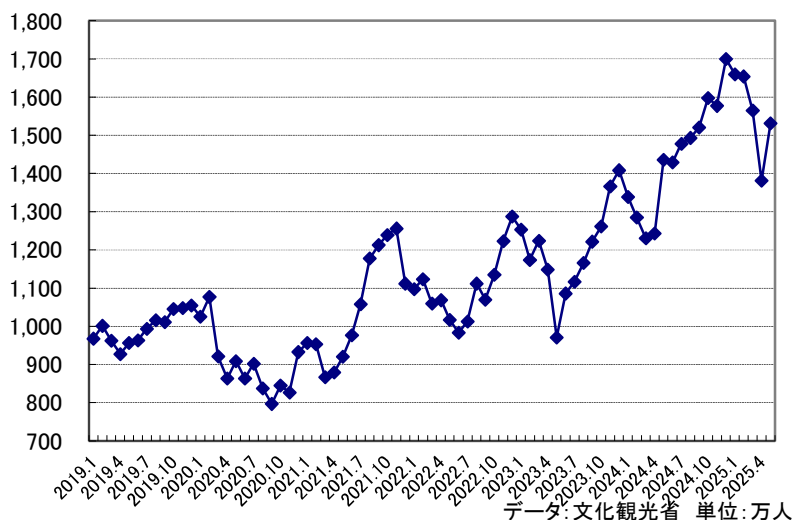
データ:財務省 単位:10億リラ

(1)5月末時点での中央政府債務残高は11兆644億リラとなり、前年同月比44.8%増、前月比2.9%増となった。
(2)また、国内債務比率は56.5%、自国通貨債務比率は45.3%(2024年末は43.9%)となっている。
(3)なお、債務残高のうち円は0.5%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。



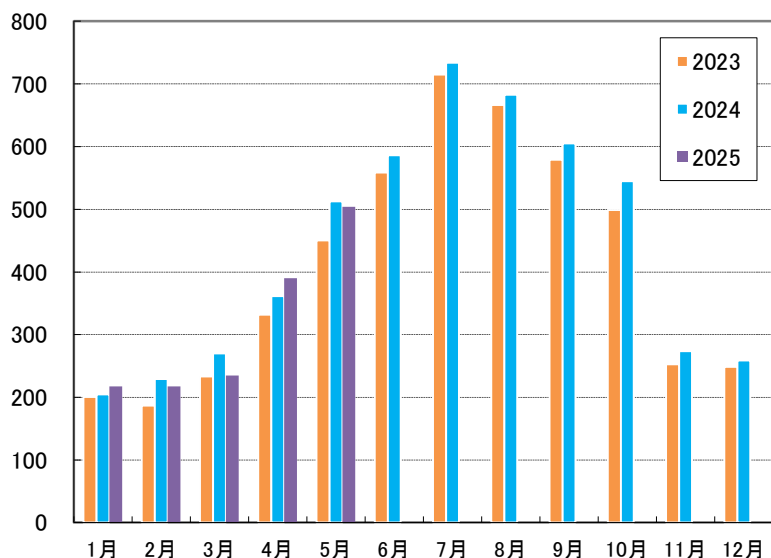
外貨準備高(5月)

(1)5月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,531.90億ドルとなった。
(2)前月から150.50億ドル増加した。



外国人訪問者数(5月)

(1)5月の外国人訪問者数は5,037,447人で、前年同月比1.81%減。日本は13,853人であった(前年同月10,217人)。
(2)国別ではロシアが最も多く、745,174人で全体の14.79%を占め、以下、ドイツ(597,348人)、イギリス(547,138人)となっている。

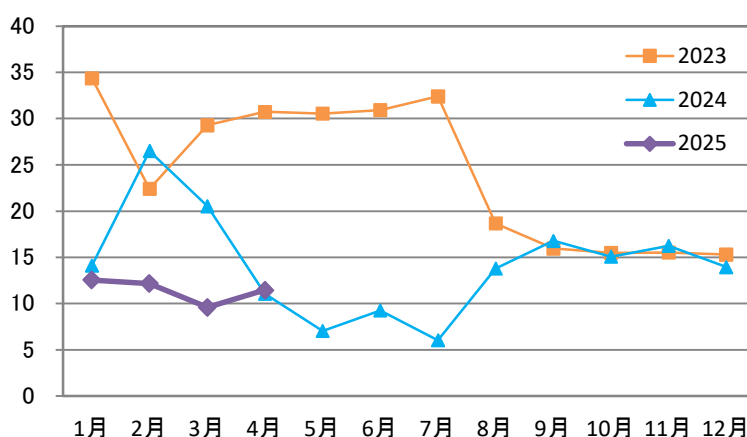


小売売上高(4月)

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

(1)4月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)11.5%増、前月比(季節及び日数調整後)2.8%増。

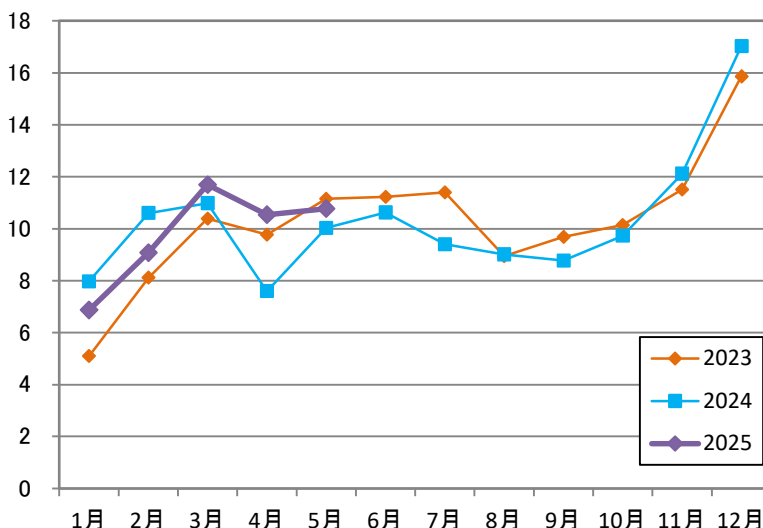
(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比7.2%増、情報・通信機器が同39.0%増となった。



新車販売台数(5月)

データ:自動車販売協会 単位:万台

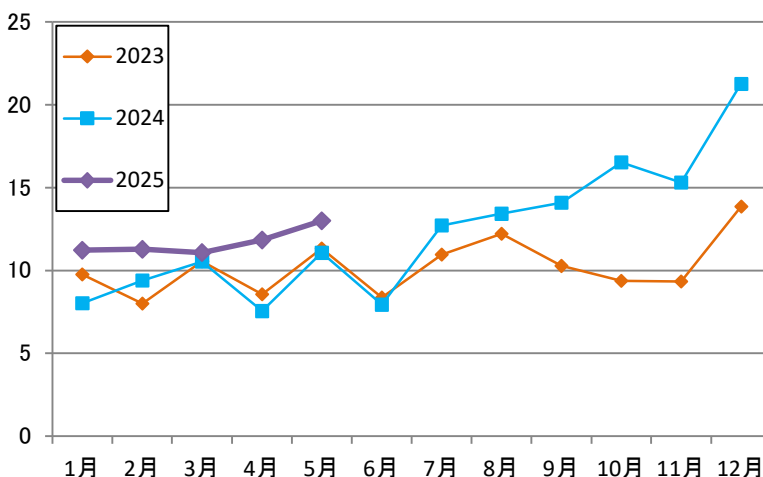
(1)5月の新車販売台数は107,730台で前年同月比7.4%増。
(2)5月の内訳は乗用車が85,123台(前年同月比6.1%増)、小型商用車が22,607台(同12.8%増)となった。



住宅販売戸数(5月)

データ:統計庁 単位:万戸

(1)5月の住宅販売戸数は130,025戸で前年同月比17.6%増となった。
(2)5月は新築が39,546戸(前年同月比11.2%増)、中古が90,479戸(同20.6%増)。
(3)5月の住宅ローンでの購入は19,412戸(前年同月比95.9%増)、その他が110,613戸(同9.9%増)。



※本資料は、当館がトルコ政府発表資料を取り纏めた参考資料であり、当館がその正確性等を保証するものではありません。